

松江市出雲玉作資料館

資料館だより

松江市出雲玉作資料館発行

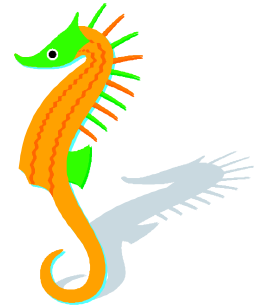
〒699-0201 松江市玉湯町玉造 99-3

開館時間 9時～17時（入館は16：30まで）

休館日；月曜日・休日の翌日 TEL・FAX（0852）62-1040



旧年中は大変お世話になりました。
本年も何卒宜しくお願ひ申し上げます。
職員一同、皆様のご来館をお待ちしております。



■1月の予定

1月21日（日）は文化財防火デーに合わせ、放水訓練と消火設備点検、避難経路確認。
松江市消防本部宍道分署、玉湯方面団員、島根県文化財課職員、松江市文化財課職員、資料館職員で今年も行います。

■今月の一品

作品名：絹本着色
制作年代：不明

作者：飛田周山 明治10年～昭和20年



作者は明治から昭和にかけて活躍した日本画家で、本名は飛田正雄といい、別号は対月居。現在の茨城県北茨木市に生まれました。明治26年に上京し叔父の書生となり、京都画壇で活躍した久保田米僊に入門後、上洛して竹内栖鳳に師事しましたが、1900年頃に再び上京してからは日本美術研究会に入り、橋本雅邦に学びました。この頃から積極的に展覧会に出品し、受賞を重ねました。明治36年に岡倉天心を茨木県の五浦に案内したことから、日本美術院五浦研究会設立のきっかけをつくりました。明治39年から昭和16年にかけては文部省の嘱託として国定教科書の挿絵も担当し『小學国語読本』巻1の「サイタ サイタ サクラ ガ サイタ」の挿絵画家として知られています。

この作品は優しく輝く箔を背景に可憐な梅花を描いたものです。老木なのででしょうか、幹の所々に苔らしいものが表現されています。

■受付横に展示しています。

今年辰年です。皆様にとって、龍のごとく空に駆け昇ほどの、勢いのある年でありませうお祈ります。

高見吉治 野菜と植物で作る 「干支アート」展

1月6日（土）～1月28日（日）



☆オクラ・胡瓜・アスパラ龍

今年の干支は「辰」。色々なアイデア・工夫を凝らした「龍」たちが様々な場面やメディアに登場し、画面や動画でも大活躍することでしょう。個性豊かな野菜たちが「龍」に大変身します。意外性のある表現や、かわいい表情をお楽しみいただけたら幸いです。（高見）



.....
■【休館日のお知らせ】

1/9（火） 1/15（月） 1/22（月） 1/29（月）

1月8日（月・祝）成人の日・は開館しています。

.....
■2月のロビー展は、湯町保育園児作品展です。